

# 朗読劇

# 『よき人、親鸞 恵信尼ものがたり』

平成24年4月8日（日）午後3時から  
於：高田会館ホール



出演者 ほうや かなこ  
保谷果菜子  
うらかみゆうてつ  
浦上勇哲

役者の妻とともに、平成十六年からお寺の本堂で詩人・金子みすゞの生涯を演じ続けてきましたが、もう一人お芝居の題材としたい女性がおりました。恵信尼さま、つまり御開山親鸞聖人の奥さまです。

今では「僧侶の妻」と聞いても驚く事ではありませんが、平安末期～鎌倉時代ではそれは（実際には隠れて妻を持つものも多かったが）認められていませんでした。そんな中、聖人は隠すことなく堂々と妻帯をし、また念仏弾圧の流れによって雪深い越後に流罪となりました。赦免後は未知の関東へ移住し数十年をそこで過ごされ、晩年帰洛されるという波乱に満ちた生涯でした。しかしその陰に、聖人をお支えした恵信尼さまの大変なご苦労があった事が偲ばれます。

朗読劇『よき人、親鸞 恵信尼ものがたり』では、その恵信尼さまの視点からお二人の生涯を演じ語ります。皆さまの抱く”恵信尼像”と重なりますかどうか、ぜひご覧頂ければと念じております。

主催 高田派青年会